



## ガバナンスの強化

社会から信頼される企業であり続けるために、  
ガバナンスの強化に努めています。

## コーポレート・ガバナンスと内部統制

### 基本的な考え方

当社は、社是「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」の実現に向け、ステークホルダーの皆様と健全な関係を築き、企業としての社会的責任を果たすとともに、持続的な成長と企業価値の向上をめざして、コーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

### 内部統制の強化

当社は、会社法に基づき企業集団における業務の適正を確保するため、取締役会で定めた「内部統制に関する基本方針」に準じて、内部統制システムの構築・強化に努めています。

### 推進体制

当社は監査役設置会社で、取締役会および監査役会を設置するほか、経営会議を設置しています。取締役会は月1回（臨時開催あり）、法令で定められた事項や経営に関する重要事項などを意思決定・監督しています。経営会議は、事業の運営に関する意思決定・情報共有の場として、社長、副社長、その他部門長などで構成され、月1回開催しています。

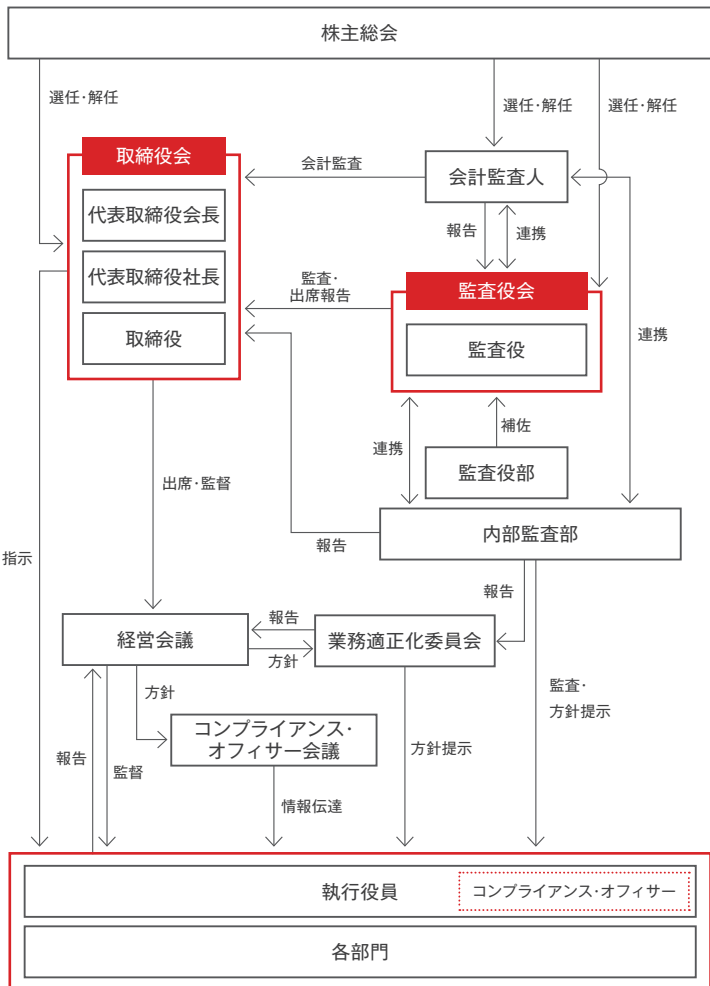
2016年度には、これまで個々に設置していたCSR委員会、コンプライアンス委員会、リスクマネジメント委員会を発展解消し、矢崎グループの内部統制の有効性を継続的に監視・評価する機関として、社長を委員長とする「業務適正化委員会」を設置しました。

2017年度に計2回開催された同委員会では、法務・財務・環境部門などの管理部門、および各地域より重要リスクや課題についての報告が行われ、グループ全体での内部統制の有効性の確認と改善に向けた議論が行われました。

また、世界各国で「内部統制委員会」の設置を進めています。中国およびタイでは、定期的に委員会が開催され、内部統制の強化に向けた活発な議論が行われています。

2017年度は新たに南米および欧州に内部統制委員会を設置し、その他の地域においても2018年度中の設置をめざして準備を進めています。

ガバナンス体制図



CSR推進体制

国内矢崎グループでは、企画室経営企画部が事務局となり、CSR連絡会を開催しています。四半期ごとに開催される同連絡会では、CSR機能部門の部長職者が集まり、各部門のCSR推進状況の確認や課題把握、CSRに関する情報共有などを行っています。

2017年度は、グローバルでCSRに関する情報共有を目的に「CSR Global Taskforce」を設置しました。

行動基準

矢崎グループでは、従業員一人ひとりがCSR方針を実践するために取るべき行動の基準を定めています。

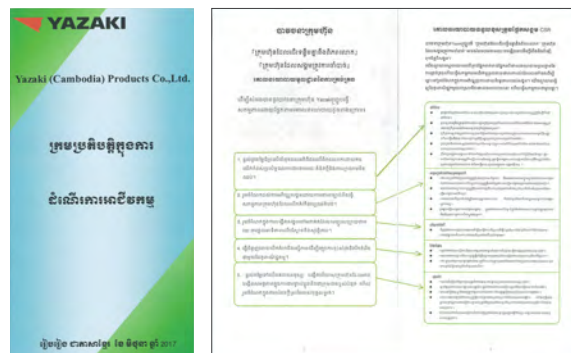
国内矢崎グループでは、CSR方針や行動基準、各種相談窓口の情報などを一冊にまとめた「行動基準ハンドブック」を発行し、子会社を含む全従業員に配布しています。また、海外子会社では、行動基準をベースに各国・地域の法令や慣習、および各事業所における規定などを踏まえたローカライズ版を制定しています。

2017年度は、カンボジア版、インドネシア版を制定しました。また、独自の行動基準を運用している一部の子会社については、本社と対話し、矢崎グループ従業員が守るべき行動基準の共有を図っています。

行動基準を徹底することで、ガバナンスの強化につなげるとともに、従業員一人ひとりが社会的責任を果たせるよう、グローバルで一体となった活動を推進していきます。



中華圏内部統制委員会の様子



行動基準ハンドブック (カンボジア版)